

香港旅行記 2025

香港・マカオ 11日間 2025/09/05~09/15



香港トワイライトゾーン



目次

<u>この本について</u>	3	<u>油麻地から男人街に来るも…</u>	23
<u>次は香港に決定</u>	3	<u>深圳行きを 1 日延期</u>	24
<u>深圳とマカオにも行こう</u>	4	<u>2025 年 9 月 8 日 (月) 朝食のトースト</u>	25
<u>フライトと宿を予約</u>	5	<u>深圳旅行プランをキャンセル</u>	25
<u>事前の準備</u>	6	<u>部屋でごろごろ</u>	26
		<u>近くのオタクビルへ</u>	26
PART1 香港観光（前編）		<u>マッサージ</u>	27
<u>2025 年 9 月 5 日 (金) 香港入国</u>	8	<u>4 日目終了</u>	28
<u>中華電信の SIM の設定</u>	8		
<u>旺角へのバス移動</u>	9		
<u>旺角の安宿にチェックイン</u>	9	PART2 香港観光（後編）	
<u>現地飯の夕食</u>	10	<u>2025 年 9 月 9 日 (火) 點點心の朝粥</u>	30
<u>2025 年 9 月 6 日 (土) 近くの洋風軽食の朝食</u>	12	<u>午後の予定</u>	31
<u>同人誌即売会 Ani-Territory 動漫祭</u>	13	<u>男人街リベンジ</u>	32
<u>トワウォ原作者のステージイベント</u>	14	<u>5 日目終了</u>	33
<u>九龍寨城公園</u>	15	<u>2025 年 9 月 10 日 (水) 朝の洗濯出し</u>	34
<u>旺角に戻る</u>	16	<u>朝食の粥とワサビ団子</u>	34
<u>「牛丼屋」の牛丼で夕食</u>	17	<u>今日の予定</u>	34
<u>2 日目終了</u>	18	<u>Comics king 香港漫畫王</u>	35
<u>2025 年 9 月 7 日 (日) 倫敦大酒店</u>	19	<u>League Castle Company</u>	36
<u>洗濯物をフロントに出す</u>	20	<u>サイゼリヤの夕食</u>	37
<u>信和中心（シノセンター）</u>	21	<u>6 日目終了</u>	37
<u>「ハッピーセット：ポケットモンスター」カード</u>	21	<u>2025 年 9 月 11 日 (木) いつもの朝粥</u>	38
<u>Jollibee のハンバーガー</u>	23	<u>香港島へ</u>	38
		<u>中国会</u>	39

<u>ふらりトラムで本屋巡り</u>	39	<u>宿のレストランで麻婆豆腐の夕食</u>	55
<u>そろそろ本土に戻ろうか</u>	41	<u>マカオ 1日目の終了</u>	56
<u>今夜もサイゼリヤの夕食</u>	41	<u>2025年9月14日（日） マカオ観光の朝</u>	57
<u>SIMカードの買い替え</u>	42	<u>洋風軽食の朝食</u>	57
<u>7日目終了</u>	42	<u>マカオカードを求めて</u>	58
<u>2025年9月12日（金） 香港観光の最終日</u>	43	<u>マカオのバスの実績を解除</u>	59
<u>九龍寨城公園リベンジ</u>	43	<u>Galaxy カジノ</u>	60
<u>九龍城塞光影之旅</u>	43	<u>カジノの無料ドリンク</u>	62
<u>物販</u>	45	<u>ビデオ・ブラックジャックで勝利</u>	62
<u>帰りのバスを乗り間違える</u>	45	<u>シネコンで劇場版「鬼滅の刃」</u>	63
<u>サイゼリヤの大満足セット</u>	46	<u>マカオ LRT の実績を解除</u>	64
<u>香港最後の夜</u>	47	<u>美食広場（フードコート）で夕食</u>	65
<u>マカオ最後の夜</u>		<u>マカオ最後の夜</u>	66
PART3 マカオ観光		<u>2025年9月15日（月） ホテルからタクシー</u>	67
<u>2025年9月13日（土） チェックアウト</u>	49	<u>出国ターミナル</u>	67
<u>フェリーターミナル</u>	49	<u>香港空港へのバス</u>	68
<u>楽しいマカオに到着</u>	51	<u>香港空港</u>	69
<u>タクシーが来ません</u>	51	<u>空港での朝食</u>	69
<u>鎮興賓館（Towns Well Motel）</u>	52	<u>ばいばい香港</u>	70
<u>モンテの砦からのマカオ観光開始</u>	53	<u>機内食</u>	70
<u>マカオ博物館から聖ポール天主堂跡へ</u>	53	<u>帰国</u>	71
<u>麓をぶらぶら</u>	54	<u>あとがき</u>	71

この本について

本書は2025年9月5日（金）～9月15日（月）に筆者が香港・マカオに10泊11日の観光に行った際の海外旅行記です。本当は中国の深圳に行くことも目標だったのですが、本書で述べるように台風直撃により見送って、ゆるめの香港・マカオのみになりました。

期間中のHKD（香港ドル）は1HKD=18.9～18.94円、MOP（マカオ・パタカ）は1MOP=17.95～18.2円でした。いずれにせよ基本「20倍して日本円」の感覚で使用しました。

期間中のCNY(人民元)は1CNY=20.66～20.7円で、こちらも前回までに余らせた人民元を荷物に入れていたのですが、深圳観光自体を見送ったので不要でした。

次は香港に決定

もとより今回の香港観光は特に明確な「香港に遊びに行きたい！」という内なる声に従ったわけではなく「有休もまだ余裕があるし、冬コミの新刊ネタとしてシルバーウィークには近隣に行くことを考えているものの、次はどこにしようかな…」程度のものでした。

実際に、当時はインドネシア・ベトナム・フィリピンか、2022年に心筋梗塞を発症したために予定の半分も遊べなかったタイへのリベンジを普通に検討していました。

このうちインドネシアとベトナムは「まだ行ったことがないで一度遊びに行きたい」ポイントこそ高かったものの、思ったほど安いLCCのセールが見当たらず、特に「ここに行きたい！」もなかつたため「今後、何かのオタクイベントがあったら行こう」ということで見送り。

そうなると「やっぱタイかな。行けば楽しいのは分かってるし、ニヤアンのカオマンガイの店に行くというネタ（多分ほどなくみんな忘れるガンダムジーアクスのネタ）もある」という方向で

検討をしたものの、7月24日にタイとカンボジアとの国境で**死者が出るレベルの武力**

衝突が発生。バンコクから出る予定のない日本人観光客の自分に身の危険の想定は皆無なもの、市内デモも発生しているようで雰囲気が悪くなっているかもなあ、ということで見送り。

次の候補はフィリピン。フィリピンについては、とても安いLCCの便も多く、そこそこのオタクイベントもあってそれなりに刺激的なポイントもあるので、一度は実行を前提に「るるぶ」まで

購入して検討を開始したものでした。

マジック・ザ・ギャザリングの関係者の間では、2015年のGPマニラに参加した知人が、夜にナイフを持った強盗に襲撃されてからくも撃退したという事件が発生していたこともあり「フィリピン怖い」ということで評価されていたので自分も躊躇していたのですが、最近別のSNSの人間の旅行報告などを読んで「そこまで警戒すべきでもないかな…」と思ったのです。

なのですが、これは日本でもそこそこ大きく報道されたのですけど、8月15日にマニラで日本人2人がマニラで**タクシーを降りるなり射殺**されたという事件が発生。ここで「やっぱりマニラやべえ！」と思うとともに、この頃には観光旅行は9月6日（土）～9月15日（月祝）を軸に週末2つを絡める予定で考えたものの、どうもその日程のマニラでオタク向けイベントが開催されないようだと分かったので、マニラ行きも見送ることにしました。

とはいものの、このマニラの事件は、「タクシーから降りるなり2人射殺」の時点で察するべきだったかもしれません、どうも日本の暴力団が現地人の殺し屋を雇って、という種類のものらしいので「観光客」である自分が警戒レベルを上げる必要もなかったかな…とは後から思いました。実際、日本からマニラへの観光客は年間38万人（2024年）も居るわけで。

こうなると「じゃあ今回は香港でいいか」ということで確定。香港は2023年に行ったばかりで特に「香港口ス」も感じていなかったのですが、2024年の映画「トワイライト・ウォリアーズ決戦!九龍城砦」（トワウォ）を2025年の頭に劇場でそこそこ楽しく鑑賞できたタイミングでもあったので「もちろんもう九龍城はないけど、あの映画の雰囲気を味わうための香港観光も悪くないな」とも考えたので、この夏のコミケでも出ていたトワウォの聖地巡礼同人誌を求めるなどして、旅行の詰めを開始しました。

深圳とマカオにも行こう

今回は2回の週末+祝日を含め最大10日のゆとりプランを編成できそうだったので、それを軸にスケジュールを立て始めました。ただの香港旅行としては10日は長すぎるので、この際だからと2018年の9月に香港に遊びに行った時に（このときは、台風直撃の影響で香港エクスプレスの帰国便が一週間取れなくて9泊しました）、日帰りで深圳とマカオに遊びに行ったことを思い出

したので「じゃあ今回は深圳とマカオにも行こう」というプランを立て始めます。特に深圳は、単に国境を越えてみたかっただけで何も現地の観光スポットなども訪れずに入国した駅のそばを数時間歩いていただけだったので、もう少しはじっくり今の中国の進歩を見てみたかったというのもありました。聞く限りでは、今はや日本よりずっと発展してる近代都市のようですし。マカオについては2015年にも宿泊を伴って遊びに行ったので「ついでに」の感覚。

調べてみると、コロナ対策もすでになく深圳への入国には2024年の秋からは日本人の観光客はビザも不要になったことも知って「これはいい」と思うとともに、むしろ今回は「深圳メインで良いのではないか」と思うくらいになりました。とりあえずネットで深圳の観光情報収集に務めるとともに、深圳は2泊3日…いや3泊4日くらいでいいか、ということで宿の検討を開始。深圳に行く日は9月8日（月）～11日（木）くらいか…と考えると同時に、香港の安宿も前半と後半に分けて3日ずつくらい取るべきだろうかと考え始めるも、その都度いちいち荷物の全部をまとめてスーツケースに入れて国境を超えたうえに不慣れな深圳で宿を探すのかな、と考えると「面倒臭いな」という気持ちが出たので「深圳行きに伴う香港の宿のチェックアウト～チェックインはいちいち行わず連泊しようか」ということにしました。もちろん深圳滞在中の香港の宿は3泊分は無駄になるけど、どうせ安宿だし**荷物預かり代**とでも考えるということで。

フライトと宿を予約

あとは航空券を買って予定を確定させるだけですが、ここで当初はぼんやり「9月5日（土）の夕方に到着するくらいでいいか」と考えていた所、旅行同人サークルとして平素は親しくさせていただいている「桜月亭」さんから「香港で9月5日（土）～6日（日）に同人誌即売会があり自分も参加します」という耳寄りな情報を得たので「それは是非ともひやかさねばなるまい」ということで決定（笑）。日本を金曜の深夜に出て土曜の早朝に着くような香港行きLCCがあればそれにする所でしたが、そのようなものが見当たらなかったので金曜は午後半休も取ることにし香港エクスプレスの金曜夕方発の便を予約。帰国は15日（月祝）の昼の便を予約。

マカオについては2泊3日くらいでいいんじゃね？と思ったのと、マカオから香港を経由せずに空港に直行して日本帰国の方法があるのに気がついて「試してみよう」というプランを策定。結局、基本的なフライトと宿のプランは、こうなりました。

往路	香港エクスプレス レス UO849	2025年9月5日（金）15:45	成田（NRT）T2 発	4h55m
		2025年9月5日（金）19:45	香港国際空港（HKG）T1 着	
復路	香港エクスプレス レス UO870	2025年9月15日（日）10:35	香港国際空港（HKG）T1 発	4h30m
		2025年9月15日（日）16:05	成田（NRT）T2 着	

日本と香港の時差は1時間です（香港が-1）

香港	Dragon Hostel Hong Kong	9月5日	9月13日	8泊 53510円+81HKD
深圳	趣创酒店	9月8日	9月11日	3泊 725.43CNY
マカオ	Towns Well Motel	9月13日	9月15日	2泊 21391円

事前の準備

あとは当日までの必要な準備です。

基本、香港とマカオについてはさほどの下調べは行わず、夏コミケで買ったトワウォの聖地巡礼同人誌を読んで「中国会というのはココか」「映画のセットなどが九龍城塞公園でまだ展示してあるらしい」などという情報を仕入れグーグルマップで場所を確認したり、桜月亭さんに連絡を入れて「即売会に土曜から遊びに行けることになりました」「では当日会場にいらっしゃったらサークル入場チケットをあげます」「ありがとうございます（無料なので）！」などやりとりをしたりします。

深圳についてはさらにわからない部分（電子決済ができるかとか、タクシーが呼べるかとかいうレベルの話です）が多くて、またオタク心を惹くような電気街やガジェットやオタクショップの発展具合はどうなんだろうとか、普通の観光スポットはどうか？「世界の窓」という所は楽しめそうなのか？とか、トワウォの聖地巡礼同人誌を読みつつ「この流浮山というスポットを訪れるなら、香港中央から行くより深圳からの再入国時に深圳湾口岸のイミグレを通って出るのが良いのではないか？」とかいう検討を進めながら、荷造りをして当日を迎えることになりました。

PART 1

香港観光（前編）



旺角の安宿にチェックインし、即売会へ

2025年9月5日（金） 香港入国

昼前に家を出ます。いささかの小雨だったので自宅から使い捨てのビニール傘をさしてケースを引いて家を出ますが、ともすれば傘がひしやげてしまうほどの風の強さです。ううむ。

とはいえて深刻に濡れるというほどのこともなく青砥行きの京成バスに乗り、12時半発のアクセス特急に乗車。13時18分、空港第2ビル駅に到着。ビニール傘はそのままゴミ箱へ。

何事もなくカウンターでの発券を終えたので、マクドナルドで昼食。

14時過ぎにイミグレを通過して、15時半には搭乗し、定刻通りに出発。

機内の5時間は基本、寝ていただけ。暇つぶし用にゼルダ入りのSwitchを持参したものの、わざわざ取り出して遊びたいほどではありません。

特に書くほどのことなく日本時間20時半、香港時間19時半には香港に到着しました。

ここからは香港時間で記します。日本時間は1時間を足してください

19時36分、空港Wifiに接続して到着連絡をして、19時42分にはイミグレも通過。ここまで順調です。

中華電信のSIMの設定

次は通信の確保だよね…ということで、スマホにSIMを設定してくれる通信会社のカウンターを探すものの、そのようなものが見当たりません。インフォメーションで聞くと「セブンイレブンでやれ」とのこと。やっぱり、そうなるのか香港…。

仕方ないので空港のセブンイレブンに行き「SIMが欲しい」というと

- ・香港・深圳で使える5G無制限の10日
- ・香港・深圳・マカオで使える5G無制限の7日

の2種類を提示される。香港・深圳・マカオで使える11日はないの…と思いつつ「じゃあ7の方で」と購入と支払い。78HKD。問題は認証を含む設定なんだがと思ったらオバちゃんがパウチした説明書を出して「これ」と指示してくれました。日本語訳もあります。助かるな。
えーと、なになに。

PART2

香港觀光（後編）



深圳行きを中止し、宿の周辺を中心にだらだら

2025年9月9日（火） 點點心の朝粥

3時半に目が覚める。さすがに昨夜は寝るのが早すぎたか。ぽちぽちスマホをいじりつつ、5時半頃に寝落ちし8時半に目が覚める。空腹を感じてきたので朝飯にしようかと近くの朝からやっている店を検索して、このビルの外周すぐそばに「點點心（Dim Dim Sum）」という評判の良さげな飲茶チェーン店の旺角店があることを知ります。ありだな。

あとで調べたら割と香港観光名所の店で、日本でも梅田と新宿に支店がオープンしていました。もっとも日本店でのメニューはかなりお高めの価格でしたけど。



10時開店だったので、部屋で少し待ってから10時に着くように宿を出て店に。入れてくれたので奥の席に適当に着席。机の上にメニューがないな…と思っていたら、支度をしていた店員が机の上にぽんぽんとテーブル番号とQRコードのついた板を置きます。なるほど、そういうことが完全に理解したと思ってQRコードをスマホで読んだら写真と値段入りのメニューが表示されました。日本語もあります。

お粥があるねと気がついたので「鶏と銀杏の粥」30HKDと、

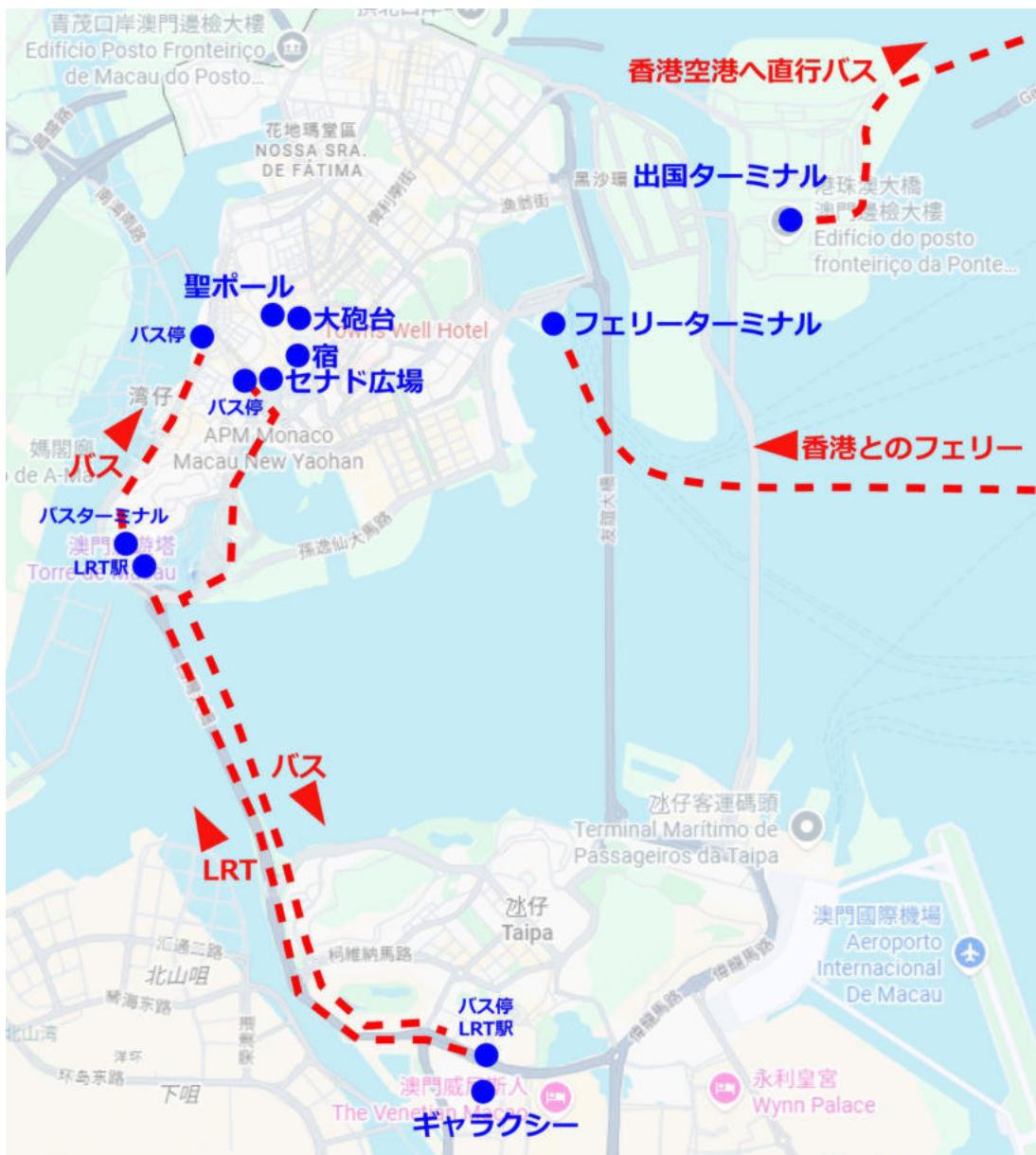
「鉄觀音茶」8HKDを選んでぼちー。
メニューの鉄觀音茶が英語版だと「Iron Budda Tea」と書いてあったのでグラグラと笑います。アイアンブッダティー。

まずティーバッグを入れたお茶が届きます。
熱々のお湯は机の上のポットから好きなだけ足せます。そして少し待ってからの粥の登場。
口にして「旨い！」と声が出ました。これはいい。美味しい。たっぷり鶏肉と銀杏も入ってるし量もジジイの朝飯には十分な分量。



PART3

マカオ観光



マカオへ渡って帰国するまで

2025年9月13日（土） チェックアウト

6時半に起床。シャワーを浴びてトイレを使います。基本、常にシャワーから熱い湯が出てくれたのはこの安宿のポイントでした。あと「用便後の紙は流さずゴミ箱に捨てて」でなかったのもポイントが高かったです。まあ、そうは言っても途中で部屋のトイレが詰まつたら面倒なことになるので、できるだけ部屋での大便はシャワーのときにして、用便後は洗い流すのをメインにして紙は最後の確認にしか使わなかったんですけどね。

食事のためか旅行中は軟便気味になることが多いので、それを全部紙に茶色いものがつかなくなるまで拭うと平気で3回4回と使用する羽目になるので、それは下水道への負担が大きいと考えています。逆に軟便ならシャワーをあてるだけではほぼ全部落ちてくれるので…。

8時半に部屋を出てチェックアウト。フロントには誰もいません。ここは「鍵はこの箱に入れていて」とかいうルール（安宿では割とある）の提示はなかったようなので、仕方ないので少し奥に行って声掛けなどしたのち、出てきたオバちゃんに鍵を渡して終了。

結局、8泊したこの安宿、まあまあ悪くなかったです。

近くのカフェで安い洋風朝食。ハムチーズのクロワッサンと、半熟目玉焼き2つと、豚肉パティでドリンク込みの総額39HKD。
あの朝粥を発見してなければ、毎朝の朝食はこういうのになっていたんだろうね…。



フェリーターミナル

階段を降りてMRTへ。中環で乗り換えてから上環で降り、ターボジェットの乗り場まで旅行鞄を引いて、フェリーターミナルへ移動。距離はたいしたことはないものの、MRTの乗り換え方向を間違えたり、フェリーの乗り場はMRTよりも上のフロアであったことを忘れていて少しだけ道に迷って口スタイル。さらにフェリーターミナルでは、すでにチケット入手済であったターボジェットの窓口を探したり、ターボジェットの窓口でkkdayのバウチャーと交換したりといった

表紙に使用した写真の説明です

香港旅行記 2025
香港マカオフェリー (2025.09.05-09.12)

九龍城塞光影之旅 正面入口 (P.43)

中国会
(P.39)



トワウォ作者
トークショー
(P.14)

トワウォ作者
トークショー
紹介 (P.14)



暴風雨の
男人街
(P.23)

香港-マカオ
フェリー
(P.51)



信和中心の
ポケモン
カード (P.21)

香港漫畫王
(P.35)



Galaxy
カジノ
(P.60)

香港旅行記 2025

発行：風使いの KARASU <https://kondohi.sakura.ne.jp/wp/>

発行日：2025年12月30日 (v1.0)

印刷所：日光企画

本書の文章や写真などの無断転載を禁じます



風使いの KARASU

